七、定期昇給ノ件ハ毎年一回九月ニ於テ詮衡ノ上昇給セシム
但シ特別ノモノハ臨時昇給ヲ行フコトアルベシ
八、残業歩増ノ件ハ旧ニ復ス
九、職工往復渡船ノ件ハ改善ノ方法ヲ講ズルコトトス
十、今回ノ件ニ付キ犠牲者ヲ出サザルコトヲ承認ス
但シ其ノ行動常軌ヲ逸スルモノハ此ノ限リニアラズ
右回答ス

大正十年六月八日

藤永田造船所主 永田三十郎

三、労働団体ノ教育又ハ宣伝運動

（一）ＬＥ会茶話会

ＬＥ会ハ主トシテ友愛会幹部並ニ都下新聞社社会部記者有志ヨリ成リ時々会合シテ労働問題ヲ研究シ来レルガ六月二日友愛会本部ニ於テ茶話会開催、会スル者鈴木文治、松岡駒吉、棚橋小虎、上條愛一、福田金次郎、坂口義治、野村正、佐野学、北沢新次郎外新聞記者六名先ヅ棚橋小虎ヨリ友誼友愛会ノ労働組合同盟会脱会理由ヲ説明シ鈴木文治「米国労働組合聯合会長ゴンパース来朝談」佐野学「大阪地方ニ於ケル大電罷業解決後各工場労働者動揺事情」北沢新次郎「現下労働運動状況談」等アリ最後ニ元東京日日新聞記者古賀逸ハ露国ニ労働運動ノ渦中ニ投